

あきる野市の小学校

東秋留小学校



校長 岡部 廣
副校長 榎戸 千代子

教育目標

「豊かな学び」
「すこやかな体」
「ひろい心」

【今年度の重点的な取組】

- ◆ 学力向上に資する授業改善
- ◆ いじめ・不登校ゼロへの挑戦
- ◆ 小中一貫教育への取組の推進

【今年度の具体的な推進内容】

- ① 豊かな自然と郷土の伝統・文化を取り入れた「地域に根ざした教育」の推進
- ② 明るいあいさつを中心とした人権教育と個々のニーズに応じた特別支援教育の推進
- ③ 東中学校との授業交流をもとに、地域の実態に即した小中一貫教育の推進

児童数501名 東秋留小学校は、一人一人に「～っていい」と実感できる「いい体験」を数多く取り入れ、個性を大切に、楽しく生きがいのある学校生活の実現を目指します。

そのため、教師の指導力を高め、「わかる授業」「楽しい授業」を実践し、児童の学力向上と基本的な生活習慣の定着を図っています。また、学校と地域社会と家庭が密接に行動連携をとり、安全・安心の環境づくりに努めています。

西秋留小学校



校長 鈴木 唯史
副校長 坂本 満弘

教育目標

人間尊重の精神を基調とし、個性豊かで、たくましく生きる、心身ともに調和のとれた児童の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

心ゆたかな、たくましい子ども

- 思いやりのある心…学校教育全ての中で、心の教育の推進
- 考える力…基礎的・基本的な学力の定着と思考力の育成
- じょうぶな体…基本的な生活習慣の確立と体力の向上

【学校の特徴】

西秋留小学校は、秋川の清流にのぞみ、風光明媚な地にあります。保護者の教育に対する期待と関心が高く、地域も、自分たちの学校という意識が強く、協力的です。地域活動も活発で、学校・PTA・地域の連携が密に保たれ、豊かな体験活動の充実が図られています。

【こんな学校を目指します】

子どもたちが育ち輝く、心身ともに元気な学校

- 1 「思いやりのある心」…「他人の痛みがわかる子に育てる」
 - ① 教師と児童のけじめをつける…教師は「さん」「くん」をつけ、児童は敬語・丁寧語を使う
 - ② 集団いじめは「しない」「させない」「みのがさない」
 - ③ きたないことは禁止、丁寧な言い方を教える
 - ④ 真剣清掃 古いと汚いは別、清掃は教科と同じレベルで指導する
 - ⑤ 児童の忘れものゼロにする指導の工夫
- 2 「考える力」…「考えるものになることを続けて行う」
 - ① よく読み、よく書く子 児童の忘れ物をなくす
 - ② 声を出して読む 名文を暗唱する 全文視写する
 - ③ 活字の本（物語り）を根気よく読めるようにする
 - ④ 45分授業の実施 教師の話は短く、はじめとおわりを確実に45分みっちり指導、つまみ禁止「です」「ます」奨励
- 3 「じょうぶな体」…「じょうぶな体になることを続けて行う」
 - ① 「よく走る」ことの日常化
 - ② 体育の授業は運動量を増やす、(45分中半分は以上は身体を動かす)
 - ③ 体育授業はランニングを必ず入れる
 - ④ 山のぼりの遠足をする ⑤ 食育を通し偏食をなくす

このことを達成するために「当たり前」のことを丁寧に教える学校をめざし、「当たり前」のことを根気強く学ぶ子を育てます。

多西小学校



校長 高橋 志夫
副校長 吉岡 正司

目指す学校の姿

「活力と魅力にあふれ、子供も教師も輝く多西小学校」
子供が育ち、地域に愛される学校を目指します

教育目標

開校139年の歴史と伝統を誇りに、以下の子供の姿の育成に努めます

- 心豊かでおもいやりのある子
- ねばり強くやりぬく子
- 明るく元気な子

教育活動の重点

あきる野市の12本の重点施策の遂行を意識しながら、「かかわり力の育成」を重点にした教育活動を展開していきます。

ハートフル教育の充実

- 組織的な学校運営
- 基礎・基本を大事にした教育実践
- 人権教育・特別支援教育の重視

チャレンジ教育の推進

- 学習・生活規律の確立
- 基礎・基本の定着
- 意図的・計画的・創造的な授業の推進
- 学び合い学習の質的向上

かかわり力の育成

家庭、地域との連携強化

- 多西ハートフル教育の充実
- 地域と連携した「よい環境づくりの日」設定
- 基礎学力の定着や読書、体育・食育、環境・キャリア・情報教育の充実
- 安心・安全対策の充実
- 体験的に学ぶ教育活動の充実

学年、学級、専科経営の充実

- 一人一人のよさを生かす
- 支え合い学び合い磨き合う集団をつくる
- 子供同士や子供とのよい関係の構築
- 意欲や豊かな心を醸成する風土づくり
- 基礎学力を向上させる日常的な取組

多西小学校は、人権教育重点推進校としてハートフル多西を目指し、4年目を迎えます。今年度からは保護者・地域の方のお力添えをいただき、「よい環境づくりの日」を設定。ますますハートフル教育を充実させます。

屋城小学校



校長 森 真二
副校長 福原 憲生

教育目標

自分で考える子(知)
思いやりのある子(徳)
たくましい子(体)

【学校の特徴】

屋城小学校では、教育目標の「自分で考える子・思いやりのある子・たくましい子」を合い言葉に、全教職員一丸となって、人権尊重の精神のもと、心身ともに健康で、豊かな児童を育てようとしています。

【経営方針や教育方針】

- (1) 学習の規律や環境を整えて、分ける授業、楽しい授業を行う。
- (2) ルールを守る大切さの指導を徹底して、「心の教育」を推進する。
- (3) ユニバーサルデザインの教室環境で、だれもが居心地のよい学校をつくる。
- (4) 自然や地域文化を生かし、特色ある教育活動を充実させる。
- (5) 教職員相互・保護者・地域・諸団体・ボランティアと連携し、協働する学校にする。

新しい学習指導要領に対応して、一人一人の子供に合った学習指導を行っていきます。そのために、特別支援教育の理念を踏まえ、だれにでも分かりやすい授業を行い、授業時間を確保して、反復学習や習ったことを使って考える学習活動を行っていきます。

また、すべての子供にとって、「安全で安心して学べる地域の学校」を目指す屋城小は、きまりを守ることが、思いやりの心を育てる基本であると考え、一人一人にきまりを守ることの大切さを指導していきます。学校と地域の方々が同じ歩調で子供たちを健全に育てていくのが屋城小学校です。ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

こんな学校を目指します

南秋留小学校



校長 遠藤 桂一
副校長 平崎 一美

教育目標

- ◎考える子
- 心ゆたかな子
- がんばる子
- じょうぶな子

【学校経営方針】

- ゆたかな人間性をもった子どもを育成します。
- 子どもたちの規範意識を育てます。
- 環境への関心を高め、環境保護・維持・改善等に向けて働きかける実践力を養います。
- 家庭、地域社会との連携を図り、地域に根ざした学校づくりを行います。
- 専門職としての誇りと自覚をもち常に研修に励むとともに組織体として対応します。

【学校の特徴】

学校南側に広がる加住丘陵と秋川、校内のビオトープ等、恵まれた自然環境の中で、南秋留小学校の子どもたちは、学校生活を送っています。米作り、畑作、むかし遊び、読み聞かせなど、保護者・地域の方々との連携・協力による生きた学習指導を進めています。

本校では、すべての子どもたちが、それぞれの教育的ニーズに応じた指導・支援が受けられるように、校内委員会を中心とした特別支援教育体制を整えています。家庭・地域・関係諸機関との連携強化を図り、配慮を要する児童への支援だけでなく、すべての一人一人に寄り添った指導を行います。

南秋留小学校では、30年来続いている米づくりは、本校の伝統的な体験学習のひとつで、地域の方々から様々なことを学んでいます。また、市内でも最大級のPTAどんと焼き、青少年による運動会、地域の方々による読み聞かせ等、PTAや地域諸団体との連携による教育も進めています。さらに、町内会による防犯パトロールや町内会行事等も充実しており、PTAや南秋留地区青少年をはじめ、多くの地域の方々に支えられ、地域ぐるみで子どもたちを育て、充実した教育活動が展開されています。

草花小学校



校長 浅原 伸行
副校長 永曾 久美子

教育目標

- 海のように大きな心
- 太陽のように輝く自分
- 大地のようにたくましく

【学校紹介】

○学校経営方針

「かかわって つながる」
～コミュニケーション能力の育成～
学校・家庭・地域 子どもたちを中心としてつながりを深化

【学校】

- 一人一人が主体的にコミュニケーションできる児童の育成
- 子どものよさや可能性を引き出し伸ばす教育を推進し、心身ともに健康な児童の育成

【家庭】

- 保護者同士のコミュニケーション
- 地域とのコミュニケーションの和の拡大

【地域】

- この地域を愛し、家庭・地域とともに進める草花小の教育
- 家庭や地域とコミュニケーションを図り、地域の教育力を活用するとともに、地域の活性化にも寄与する学校運営

草花小学校では、今年度特に、防災の拠点として果たす学校の役割を明らかにし、地域と連携しながら自然災害に備える学校作りを進めていきたいと考えています。

「チーム草花」として、教職員が一丸となって、草花小学校の子どもたちをはぐくんで参ります。

一の谷小学校



校長 加藤 達夫
副校長 玉森 正一

教育目標

- よく聞いてよく考える
- やさしい心をもつ
- 最後までがんばりぬく

【経営方針】

- ①いのちを大切にすぬくもりあふれる学校
 - 教育活動全体を通して人権教育を推進し、人権に対する感覚や実践力を育てる。
- ②知的好奇心・探求心あふれる学校
 - 基礎的・基本的な内容の確かな定着を図り、学ぶ意欲と自信を育てる。
- ③笑顔あふれる学校
 - すべての児童に必要なとされる支援を児童の教育的ニーズに応じた指導によって推進する。
- ④楽しさあふれる学校
 - 自ら学び考え解決する力や表現力を育み、主体的に学ぶ力を育てる。
- ⑤自然や地域文化と一体となった学校
 - 地域の様々な人や自然や文化とのかかわりを通した学びを重視し、豊かに生きる力を育てる。
- ⑥心の安定、安全な学校
 - 心身の健康の保持増進や安全に対する意識を高めるために、運動、体力向上に関する指導や健康・安全指導を計画的に推進する。
- ⑦夢と希望あふれる学校
 - 学校を開き、家庭・地域との連携を充実させ、「共有」の充実を図り、夢と希望のある学校とする。

【学校の特徴】

- ①国語と算数の少人数（15名程度）で指導。学力向上に力を入れています。
- ②伝統芸能の学習など一の谷小ならではの教育活動で、子どもたちが豊かに育っています。
- ③安全・安心な学校作りを進めています。（メール送信、学校安全ボランティアの活用）
- ④学校支援地域本部事業として「学校ボランティアの充実」に取り組んでいます。

一の谷小学校は、秋川を挟んでサマーランドと対面している、全館冷暖房完備の学校です。本年度で開校37年目を迎えます。開校当時、地域の方々に寄贈していただいた500本の木は、今でも地域の方々の手によって剪定が行われており、まさに、地域の学校に対する熱い思いに支えられている地域あつての学校といえます。特別支援学級「こすもす学級」は開校4年目になりました。現在の学級数は9学級、児童数は180名です。

国語と算数の2教科で少人数指導を実施しています。15分モジュール学習の取り組みとともに、基礎学力をつける指導の充実を図っています。あきる野学園との交流は13年目を迎えます。年2回の休日の学校公開。地域の経験豊かな方々から学ぶ指導体制の充実も図っています。

前田小学校



校長 竹川 博
副校長 鈴木 貴

教育目標

- 「いのちを大切にし、共に輝き生きていこう」
- かしこく…自ら学び考える力を育てる
- ながよく…人の良さ自分の良さを生かし合う
- たくましく…じょうぶな体とねばり強い心を育てる

前田小学校は、「人と人とのかかわりを大切にし、共に学び、共に育つ学校」を学校経営の柱とし、今まで以上に「誰もが楽しい学校」、「子どもたちが輝いている学校」としていくため、日々の教育活動を展開していきます。

今年度は、特別支援教育をベースとして、落ち着いて学習や学校生活に取り組んでいる本校の特質を生かし、「学力の向上」、「小中一貫教育への取組」に力を入れていきます。

「学力の向上」では、学習環境の整備、学習スタイルの確立、基礎・基本の定着を図るための工夫、表現活動の重視、全校朝読書の実施、朝学習の充実、ユニバーサルデザインを取り入れた授業の推進など、本校が考えている学力向上への取組を目に見える形にして、全校で取り組んでいきます。

「小中一貫教育への取組」では、東中学校との交流活動を手始めとして、推進のための組織を近隣小中学校と立ち上げ、9年間を見通した指導への取組を具体化していきます。